2026 年度

京都外国語大学
コミュニティ通訳者育成プログラム

募集要項

（2024 年度以降入学者対象）

目次

１．　コミュニティ通訳者とは 1
２．　「コミュニティ通訳者」育成プログラム 1
３．　プログラム修了要件 1
４．　プログラム（認証書授与まで）の流れ 2
５．　募集定員 2
６．　登録資格 3
７．　登録手続 4
８．　適正テスト 4
９．　本学が認める通訳業務 5
１０．　認証書交付申請オリエンテーション 5
１１．　認証書授与 6
１２．　スケジュール 6
１３．　問い合わせ 6

1．コミュニティ通訳者とは

コミュニティ通訳者は、言語の障壁によって医療、教育、社会福祉、行政、司法などの公的サービスにアクセスできない人に対して通訳者として支援します。

国際規格では「コミュニティ利用の目的で、コミュニケーションの場面において異なる言語の話者間で起こる双方向の通訳」と定義され､観光客や被災者への通訳行為も含まれています。主な活動としては、国内で医療、教育、社会福祉、行政、司法などの公的なサービスを提供する専門家と移民（外国人住民）を対象に、通訳者としてその間に入り、二者間で行われる対話コミュニケーションを互いの言語へ変換します。国際会議などで演説やスピーチを対象言語に変換する会議通訳とは異なります。

2．「コミュニティ通訳者」育成プログラム

このプログラムは､「コミュニティ通訳者」の育成を図るものです。本学では、コミュニティ通訳に関する専門科目「コミュニティ通訳特論」を設置しており､一定の条件を満たした場合、国際規格『ISO 13611：2024 通訳―コミュニティ通訳のための要求事項および推奨事項』認証書を卒業時に授与します。

国際規格『ISO 13611：2024 通訳―コミュニティ通訳のための要求事項および推奨事項』認証書は、世界中の ISO 加盟国で通用するもので、国際的な人材登録制度を利用する場合はボーダーレスなグローバルコールにも対応できる人材であるとの証明となります。本認証は個人が取得する認証です。また、有効期限は 3 年で、継続するには更新審査を必要とします。

3．プログラム修了要件

次の（1）～（4）のすべてを満たすこと

(1)　「コミュニティ通訳特論Ⅰ（2 単位)」と「コミュニティ通訳特論Ⅱ（2 単位)」の単位を修得すること

※　「コミュニティ通訳特論Ⅱ」を履修するには、「コミュニティ通訳特論Ⅰ」の単位を修得しておく必要があります。また､「コミュニティ通訳特論Ⅱ（英語)」を履修するには英米語学科の選択科目におけるアドバンスト科目の履修基準を、「コミュニティ通訳特論Ⅱ（スペイン語)」 を履修するにはスペイン語学科の選択科目におけるインターミディエイト科目の履修基準を、「コミュニティ通訳特論Ⅱ（ポルトガル語)」 を履修するにはブラジルポルトガル語学科の選択科目におけるインターミディエイト科目の履修基準を､「コミュニティ通訳特論Ⅱ（中国語)」を履修するには中国語学科の選択科目におけるインターミディエイト科目の履修基準を、それぞれ満たしておく必要があります。

※　「コミュニティ通訳特論Ⅱ（ロシア語)」については、ロシア語学科生は「総合ロシア語Ⅱ」の単位修得、ロシア語学科以外の学科の学生は「ロシア語能力検定試験３級」を取得し、ロシア語学科の選択科目におけるインターミディエイト科目の履修基準を満たしておく必要があります。

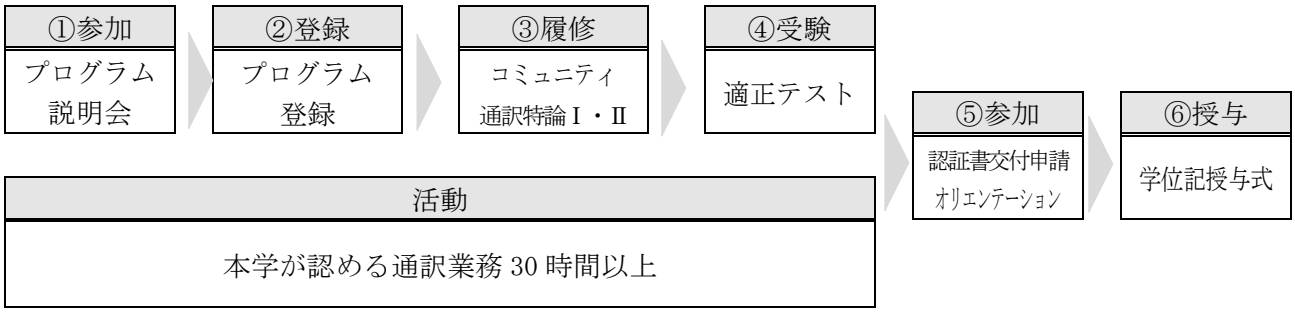
(2)　適正テスト（オンライン・90 分）に合格（言語能力合格証：総合評価 A（CEFR:B2 相当）以上）すること

(3)　本学が認める通訳業務等に伴う証明書を提出すること

(4)　認証書交付申請書のためのオリエンテーションに参加すること

※ 認証書の取得は在学中に限るため、在学中に認証書を取得できなかった場合、卒業後に取得することはできません。

4．プログラム（認証書授与まで）の流れ



※ 「コミュニティ通訳特論Ⅰ」は 3 年次春学期配当科目、「コミュニティ通訳特論Ⅱ」は 3 年次秋学期配当科目です。

※ 各言語の適正テストは、各学期に 1 回実施する予定です。

5．募集定員

言　語	募集定員
日本語・英語	入学年度・言語ごと 各 25 名 （2 年次：23 名、3 年次編入：2 名）
日本語・スペイン語	
日本語・ポルトガル語	
日本語・中国語	
日本語・ロシア語	

※ 複数の言語に登録できます。

※ 応募者数が募集定員を超えた言語については選出（GPA（通算）の高ポイント順）を行います。その際、専攻言語による配慮は行いません。

6．登録資格

次の（1）～（6）のすべてに該当する者

(1) 2024 年度以降に入学した正規の学部 2 年次生（2025 年度 2 年次編入学生）であること

(2) 英米語学科ダイヤモンドコースに所属していないこと

(3) 本プログラム登録時から認証書授与まで本学の正規生として学部に在学していること

(4) 本プログラムの趣旨を理解し、積極的にプログラム完成を志す意思のあるもの

(5) 誓約書のすべての内容を理解・了承していること

(6) 登録言語が以下のレベルに達していること

英語 アドバンスト	①TOEIC L&R（IP を含む）650 点以上 ②TOEFL iBT 68 点以上 ※2026 年 1 月 20 日以前実施分 ③TOEFL iBT 4 以上 ※2026 年 1 月 21 日以降実施分 ④IELTS（アカデミック・モジュール）5 以上 ⑤実用英語技能検定（S-CBT を含む）準 1 級以上 ⑥GTEC Academic 2 技能（LR）260 点以上 ⑦GTEC Academic 4 技能（LRWS）530 点以上
スペイン語 インターミディエイト	①スペイン語技能検定試験 5 級以上 ② DELE A1 以上
ポルトガル語 インターミディエイト	①外国語としてのポルトガル語検定試験準初級以上 ②学科総合試験 55 点以上
中国語 インターミディエイト	①HSK3 級以上 ②中国語検定試験 4 級以上 ③実用中国語技能検定試験 4 級以上
ロシア語 インターミディエイト	①TORFL 検定試験基礎レベル ②学科総合試験 60 点以上※ロシア語学科生のみ受験可能 ③ロシア語能力検定試験 3 級以上（ロシア語学科生以外）

7．登録手続

(1) 登 録 期 間

2026 年度秋学期末（予定）

(2) 登 録 方 法

Microsoft Forms から登録してください。

※ Microsoft Forms の URL は、後日、登録期間と同時にお知らせします。

※ 本学発行の Gmail アドレス《@kufs.ac.jp》からログインし、必要事項を入力、提出書類を添付して送信してください。

※ 「(1) 登録期間」以外での登録はできません。

(3) 登 録 書 類

① **登録言語の語学検定試験結果証明書**

登録する言語が「６．登録資格」に記載のレベルに達していることを証明できる語学検定試験結果のスコア等のコピーを提出してください。

ただし、自身の UNIPA で登録資格のレベルに達していることを証明できる人は提出不要です。

② **誓約書（本学所定用紙）**

8．適正テスト

プログラム登録者を対象に、各学期に 1 回各言語の適正テストを実施する予定です。プログラム修了の要件の 1 つとして、登録した言語の適正テストを受験し、合格する必要があります。

※ 言語ごとの試験日時・場所等は、当該言語登録者に別途お知らせします。

※ 言語ごとに試験日時が異なる場合があります。

言語能力総合評価Ａ（CEFR：Ｂ2 相当）以上に合格した場合に限り、試験日から 1 週間後頃を目処に「言語能力カルテ」が発行されます。「言語能力カルテ」は、卒業予定の学期に参加する**認証書交付申請オリエンテーション時に必要な書類**となりますので、必ず保管しておいてください。

９．本学が認める通訳業務

プログラム修了の要件の１つとして、**30 時間以上**（各言語ごと）本学が認める通訳業務を行う必要があります。業務を行った証明として、認証書交付申請オリエンテーション時に「コミュニティ通訳関連業務稼働証明書」を提出する必要がありますので、通訳業務が終了する度に各通訳業務の担当機関、部署、教員へ「コミュニティ通訳関連業務稼働証明書」の作成を学生自身で依頼し、必ず証明書を保管しておいてください。

通訳業務	証明書発行機関、部署、教員		
フリーガイドクラブ ※1	吉川裕介先生		
LinguaLink ※2	ランゲージセンター		
京都市国際交流協会	京都市国際交流協会		
その他学生個人が行った業務 ※3	英　　語	：佐藤晶子先生 アイシュワリヤ・スガンディ先生	ak_sato@kufs.ac.jp a_sugand@kufs.ac.jp
	スペイン語	：立岩礼子先生	r_tateiw@kufs.ac.jp
	ポルトガル語	：伊藤秋仁先生 フェリッペ・モッタ先生	a_ito@kufs.ac.jp f_motta@kufs.ac.jp
	中　国　語	：大西博子先生 楊蕾先生	h_onishi@kufs.ac.jp l_yang@kufs.ac.jp
	ロシア語	：菱川邦俊先生 三好マリア先生 グリゴリー・ミソチコ先生	k_hishik@kufs.ac.jp m_miyosh@kufs.ac.jp g_misoch@kufs.ac.jp

※１：フリーガイドクラブに所属する学生対象
※２：LinguaLink に所属する学生対象
※３：当該業務を行う前に、国際規格『ISO 13611：2024 通訳―コミュニティ通訳のための要求事項および推奨事項』に該当するかを、上記の各言語の担当教員に必ず確認してください。また、確認時には当該業務の内容がわかる資料（当該業務斡旋機関が作成したものに限る）を明示してください。
※教員スケジュールは UNIPA を参照してください（UNIPA＞授業・履修＞教員スケジュール）。

１０．認証書交付申請オリエンテーション

プログラム修了（認証書取得）には、卒業予定の学期に認証書交付申請オリエンテーションに参加し、必要書類を提出する必要があります。

(1) 日 時
※順次告知します。

(2) 提 出 書 類

① **卒業見込証明書（日本語）**

② **成績証明書（日本語）**

③ **言語能力カルテ（本学所定用紙）**
適正テストを受験し、言語能力総合評価Ａ（CEFR：Ｂ2 相当）以上に合格することで、発行されます。

④ **コミュニティ通訳関連業務稼働証明書**
通訳業務を行ったクラブや法人団体、またそれらを担当する教員に発行を依頼してください。合計 30 時間以上（各言語ごと）の通訳業務を証明する必要があります。

⑤ **遵守調書（本学所定用紙）**

※上記以外の書類の提出を依頼する場合があります。

１１．認証書授与

認証書交付申請オリエンテーション時に必要書類が提出されたのち、学位記授与式の際に認証書が授与されます（9 月卒業者含む）。提出書類に不備・不足がある場合は、認証書が授与されない可能性があります。

１２．スケジュール（予定）

日　時	内　　容	備　考
2026 年 10 月 16 日(金)	**プログラム説明会**	
２年次秋学期	**プログラム登録**	Microsoft Forms
３年次春学期	**「コミュニティ通訳特論Ⅰ」の履修**	3 年次春学期配当科目
３年次秋学期	**「コミュニティ通訳特論Ⅱ」の履修**	3 年次秋学期配当科目
各学期 1 回	**適正テスト受験**	
卒業予定の学期	**認証書交付申請オリエンテーション**	卒業年次生のみ

※　各学期の適正テストおよび認証書交付申請オリエンテーションの日程は、登録者に別途お知らせします。

１３．問い合わせ

◎教育支援課 資格課程担当連絡先

Tel：075-322-6764、Email：shikaku@kufs.ac.jp